

平成 29 年度 第 2 回しなの鉄道活性化協議会 議事概要

日時 平成 29 年 12 月 20 日 (水)

13 時 40 分～15 時 40 分

場所 しなの鉄道本社 第一・二会議室

1 開 会

会議成立の報告 (事務局)

委員 26 名中 15 名が出席。出席者が過半数を超えており会議が成立していることを報告。
(協議会規約第 6 条第 2 項)

2 あいさつ

<しなの鉄道活性化協議会会長>

当協議会の会長を務めております、しなの鉄道㈱専務取締役です。よろしくお願いいたします。

平素はしなの鉄道の運営に対しまして、多大なるご支援、ご協力いただいておりますこと、この場をお借りして御礼申し上げます。

11 月に弊社取締役会が開催され平成 29 年度の中間報告がなされておりますので、経営状況について紹介させていただきます。

平成 29 年度 4 月から 9 月までの上半期のしなの鉄道線と北しなの線を合わせた輸送人員全体は、前年同期比▲0.5%の 768 万 4 千人でした。今年はNHK大河ドラマ「真田丸」放映効果の反動減で厳しいと見込んでいたものの、上田市の鉄道利用人員は若干減りましたが、特に軽井沢町の鉄道利用客が好調で、ほぼ前年並みの数値を確保できました。営業収益全体では、22 億 9,000 万円、前年同期比 1.6%増、営業費は全体で 20 億 1,900 万円、前年同月比 4.1%増、営業利益全体は 2 億 7,000 万円でした。非常に好調であった昨年と比べると若干減っていますが、堅調な業績といえると思います。

上半期の主な事業として、ハード面においては、沿線市町及び県の支援をいただき、老朽化対策としてマクラギや電柱の交換の他、バリアフリー関連では小諸駅エレベーター設置工事を進めています。営業面では、観光列車「ろくもん」の運行日数を増やし、また「信州プレミアムワインプラン」の運行など強化に努めました。

今年度は開業 20 周年ということで、これを記念し、かつて信州を駆けた懐かしい車体カラーに塗り替える企画を実施し、「初代長野色」「湘南色」「横須賀色」を復活させ、それぞれ記念列車を運行し集客に努めました。また、沿線自治体の皆様にご協力いただいた「沿線キャラクター大集合ラッピング列車」は、12 月 25 日に軽井沢町で出発式を開催し、運行を開始します。懐かしい車体カラー第四弾の「コカ・コーラ」レッドカラーは、クラウドファンディングという手法で、鉄道ファンなど皆様から 300 万円ほどご支援いただき、3 月 4 日に運行開始の予定で進めています。お客様が倍増とまではいきませんが、このような施策を地道に行いながらお客様の確保に努めています。

本日お集まりの皆様の中でご足労いただいた方もおりますが、10月1日には開業20周年記念式典を開催しました。祝賀の一方で、これからの20年を考えると非常に厳しい状況が考えられます。沿線市町では、人口減少対策をしっかりとやられていると思いますが、沿線市町の人口推計を足し上げると、約20年後には沿線の高校生が約10～35%減少し、生産年齢人口は約20%減少するとでています。これをどう乗り切っていくかが一番の課題と思います。実際、しなの鉄道線では、平成10年の開業当初は1,230万人の輸送人員が、現在は1,008万人と約18%減少しています。収入はほぼ横ばいですが、これは3回にわたる運賃値上げをした結果です。今後、運賃値上げはご利用の皆様にご受け入れていただけるかということを見ると、人口減少等についてはこれまで以上に厳しい状況と考えています。

一方で、鉄道会社は安全・安定輸送が一番の基盤になりますが、それを確保するためには車両を含めた施設・設備の老朽化への対応等、厳しい経営環境が予想されます。車両更新に関しましては、沿線市町の皆様にご考え等をお伝えし、一定のご理解をいただいたと思っております。社内においては、車両更新に係るワーキンググループを設置し、必要車両数等具体的な更新計画策定に向け鋭意検討しておりますので、沿線市町の皆様と共有を深めながら進めてまいりたいと思っております。

収益向上については、『軽井沢駅「駅ナカ」開発プロジェクト』のうち、10月27日に第1弾として旧駅舎口がオープンしました。3月末には第2弾として「デッキ広場」や3階の商業ゾーンなどグランドオープンしますので、それに向けて工事を進めています。準備をしっかりと行い、収益の柱として活用するとともに、駅が列車に乗り乗るためだけでなく、行ってみたいくなるような楽しい駅として、全国でも珍しい駅づくりに取り組んでまいります。当社としてはこれからの20年、地域にかけがえのない鉄道として存続するためには全力で取り組んでいかなければならないと考えています。本日お集まりの沿線市町の皆様、商業部会の皆様、観光関係の皆様、住民の皆様には、これまで以上にコミットしていただき、しなの鉄道の活性化にご尽力いただきたいと思います。

さて、本日の協議会の議題もごさいますが、協議事項の最後には、しなの鉄道の平成10年と比較した利用実績とともに、沿線市町の人口がどのくらい減少しているか、事業所数及び従業員数はどのような増減をしたかを含め各市町のデータを作成しましたので、ご審議いただければと思います。ご審議いただくうえで、通勤の利用者をどのように増やしていくかヒントを得るための検討作業ということの本活性化協議会の事業として位置づけ、取り組んでまいりたいとご提案させていただきます。是非とも活発なご議論をいただき、ご意見、ご提言を賜りたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

以上、簡単ではございますが、開会のあいさつとさせていただきます。よろしくお願いたします。

3 協議事項（議長：会長 協議会規約第6条第1項）

- (1) 平成27年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について
- (2) 平成28年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について
事務局から「資料1」及び「資料2」を一括説明。

(質問・意見等)

ア. 地域公共交通確保維持改善事業の全体計画の概要が分かればあればありがたいのですが、例えばマクラギ更新について、全体計画と現状の概略を教えてください。

<事務局>

マクラギ更新について、現在の計画では年間 1,000 本程度の更新を平成 28 年まで毎年続けていきます。電柱は、経営状況等に鑑み、変動はあるものの毎年 25 本から 50 本程度建て替えを続けていきます。

(異議なし、一括して承認)

(3) 平成 29 年度しなの鉄道活性化協議会事業の進捗状況について

事務局から「資料 3」を説明。

(質問・意見特になし)

<議長>

沿線キャラクター大集合ラッピング列車については、開業 20 周年ということもあり、沿線の皆様に一体となって盛り上げていただいたいという主旨のもと、今回取り組みました。ありがとうございました。ラッピング列車として、見るだけでなく、例えば沿線の保育園・小学校の皆様などからお話があった場合には、貸切列車など楽しい利用方法をお伝えいただければ、鉄道会社としてご協力させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

(4) 沿線市町鉄道利用実態と人口動態（平成 30 年度しなの鉄道活性化協議会事業について）

<議長>

次第には平成 30 年度しなの鉄道活性化協議会事業についてとなっておりますが、事業全体の計画は年明けに作成していきます。前段階として、冒頭のあいさつでも説明させていただきましたとおり、今後の 20 年を見据える中で、活性化協議会として調査・検討事業に取り組んでいただきたいと考えており、本日はその素案を提案し、審議いただきたいと思います。

事務局から「資料 3」を説明。

<議長>

通学利用者について、改善点はあるかと思いますが、他に交通手段がなく、ここ 10 年、長野県内の通学制の見直しなどで私学を含め広域的に通われています。

この度、通勤に絞った提案の背景は、通勤利用者が事業所数や生産年齢人口に比べてかなり減っています。これは、よく言われることで車社会に転換しているといわれれば一言ですみますが、もう少し深掘りし、課題・問題はどこにあるのか企業の声聞きながら調査していかないと、単純にダイヤが不便、料金が高だけでは解決になりません。例えば、二次交通との接続が悪いとなれば沿線市町の皆様に頑張っていたかなければなりませんし、駅前の駐車場がないという場合には評価しなければなりません。或いは、鉄道会社では1年定期などといった取り組みがありますが、そういったことが必要なかどうか。また、通勤手当は各企業ではどのようになっているか等含め、悉皆調査(しっかいちょうさ)ではなく、商工会議所の皆様の推薦を受けながら、各企業の協力をいただき、抽出・ヒアリングをしていくという方法も考えられます。このような調査・研究事業を活性化協議会事業の目玉としてやっていきたいと考えています。

資料内の所見は当社がまとめたものですので、これ以外の要素・要因はありますし、もしかすると認識に間違いがあるかもしれません。通勤利用者が増えているところは存じ上げませんが、何か沿線市町において独自に通勤利用を促すような施策があるかもしれませんし、それらを含めワーキングで、実状を良くご存じの担当者を交えて効果的な調査・調査方法を探っていきたいと思っています。

(質問・意見等)

イ. 資料4-1ページに乗車人員とありますが、これは単純に各駅の乗車人数でしょうか。長野市はしなの鉄道線では篠ノ井駅ですが、JRや北しなの線など篠ノ井駅をこえて乗車されている人は加味されているのでしょうか。連絡運輸分の乗車人数はカウントされているのでしょうか。

<事務局>

篠ノ井駅から乗車される人数の他に、例えば、長野駅から上田駅まで利用されるような、長野駅から乗車された連絡運輸分の人数も篠ノ井駅の乗車人員にカウントされます。

ウ. この度は詳細にお調べいただき、まとまっている資料だと思います。上田市の乗車人員でいいますと非常にショッキングな数値で、乗車人員▲17.9%の近似した数字を探しているのを見当たりません。これが会長のおっしゃる問題点の深掘りにつながるのだと思いますが、ご提案のように今後のワーキンググループで探っていただければと思います。

エ. ヒアリングを検討されているという事ですが、事業所にメンバーに加わってもらうのでしょうか、それとも事業所に調査のお願いをするのでしょうか。

<議 長>

そこまで詳しく詰めていませんが、それなりの事業規模がある中で、事業者にお声掛けをしていただくときに、商工会議所の皆様の方が企業の実態を良くお分かりですので、一緒にご対応いただければ良いと考えております。現時点ではどのように行いかなど提案できませんので、今後相談させていただきます。いずれにしても、企業を選ぶ時等にはご協力いただきたいと思います。

オ. 総会は3月、6月に行われますので、そのような場に参加いただければ良いのではないかと思います。

<議 長>

是非お願いします。

カ. 伝えておきます。

<議 長>

他に質問、意見ございますか。よろしいでしょうか。

非常に重いテーマですので、提案のとおり進めさせていただく形で各委員担当者の皆様の日程調整をさせていただき、このデータがそもそも正しいのかも含めてワーキングの中で検討させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(異議なし、承認)

(5) その他 (車内中吊り広告の掲出について、及び、しなの鉄道ダイヤ改正について) 事務局から説明。

(質問・意見等)

キ. 妙高高原から軽井沢までの車両直通運転は、非常に利便性が向上して良いと考えますが、北が豪雪地帯のため運転できないといった場合には、その便は運休になるのでしょうか。

<議 長>

ケースバイケースだと思います。

ク. 町に循環バスの時刻は、駅を利用していただくために、鉄道ダイヤにあわせています。循環バスの時刻表を作成する上で、少し早めに改正後の時刻表をいただきたい。

<議 長>

関係部署に伝えます。

<議 長>

協議事項が全て終了しましたので、当協議会副会長の上田市政策企画部長より一言コメントいただきます。よろしくお願いいたします。

<しなの鉄道活性化協議会副会長>

ただ今紹介いただきました上田市建設部長でございます。

昨今、聞きなれない言葉かもしれませんが、立地適正化計画ですとか、都市構造の検討を国から指導を受けながら行っています。その中で、しなの鉄道のような幹線鉄道や駅を中心にして都市構造をつくっていくというものがあります。もともとの発想の原点として、人口減少する中でどのように都市構造を維持していくかがテーマとなっています。本日の会議議題の中で重い課題を提案いただきましたが、皆様方と一緒に、活性化しながら維持していけるような方策を探ってもらいたいと思います。また、本日の会議では、たくさんの資料等を出していただき、精力的に検討いただいていると感じたところです。

観光関連では、去年のNHK大河ドラマ「真田丸」放映効果により、上田市に多くのお客様に訪れていただきました。本年度も若干その影響は残ってはいますが、その時だけという状況です。これを外国人の誘客などに繋げていければということで、上田市長としなの鉄道の社長がともに台湾を訪問しました。外国人観光客の移動手段としてしなの鉄道を利用してもらうことと、軽井沢駅「駅ナカ」開発など鉄道そのものが観光客の目的となるような運行、施策をしていただければと思います。

最後になりましたが、当協議会の益々の発展を祈念申し上げて、挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

4 閉 会

以 上